

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 2 回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	令和 4 年 1 2 月 2 2 日（木） 午後 2 時 0 0 分～午後 2 時 5 5 分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3 階 3 0 1 会議室
議 題	（ 1 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況及び 取組事業の評価（令和 3 年度分） （ 2 ） 新型コロナウイルス感染症の影響及び対応状況 （ 3 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規・拡充事 業（令和 5 年度実施分） （ 4 ） 次期連携中枢都市圏構想 （ 5 ） その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	大西会長、佐藤副会長、大山委員、松原委員、上村委員、井上委 員、大江委員、中松委員、伊藤委員、富田委員、小林委員、井下委 員、前田委員、河野委員
傍 聴 者	0 人 （定員 5 人）
報道機関	1 人
担当課及び 連絡先	政策課（087-839-2135）

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

議題（ 1 ） 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況及び取組事業の評価（令和 3 年度分）

（会長）

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの目標達成状況及び取組事業の評価（令和 3 年度分）について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明（資料 3 ～ 1 3 ページ）】

会議経過及び会議結果

議題（２）新型コロナウイルス感染症の影響及び対応状況

（会長）

新型コロナウイルス感染症の影響及び対応状況について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明（資料１４～２０ページ）】

議題（３）瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規・拡充事業（令和５年度実施分）

（会長）

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏における取組の新規・拡充事業について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明（資料２１～２６ページ）】

議題（４）次期連携中枢都市圏構想

（会長）

次期連携中枢都市圏構想について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明（資料２７～３０ページ）】

（委員）

国全体で人口減少が進んでいる中、次期連携中枢都市圏構想においては、圏域人口を目標値とするのではなく、人口減少を前提に圏域内でどのように対応していくのかという視点で取り組んでいく必要があると考える。

（委員）

圏域人口を考える際には、住民基本台帳に登録されている人口だけでなく、いわゆる関係人口も含め検討してはどうかと考える。

(会長)

人口といっても多様な側面がある。自然増減については、減少抑制のために、できるだけ子供を産み育てやすい圏域、あるいは、地域をどう作っていくのかが大事である。

また、社会増減については、圏域全体として、より魅力ある圏域を作っていく、あるいは、圏域の魅力の良いところは伸ばしていき、圏域全体としてPRすることにより知名度アップにつなげ、できるだけ転出超過しないように努めるということも大事である。

高松市においては、過去10年間以上、社会増であったが、令和3年に社会減に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、入国制限が長期化したため、技能実習生や留学生など、外国人の転入が減少したことが、大きく影響している。

このように、一概に数字だけでは判断できないこともあるので、内容をきちんと見ていく必要がある。

また、関係人口や交流人口を増やすことによって活力ある圏域を維持していく必要がある。

単純に数字だけの目標を掲げるのではなく、数字の中身についてよく考えて目標設定を行い、圏域全体でより住みやすいまちづくりを目指していくのが良いと考える。

議題(5) その他

(会長)

せっかくの機会なので、議事全般や各市町の共通する事項について、意見や質問等があれば、御発言いただきたい。

(委員)

取組事業の事業数が多いので、次期連携中枢都市圏では、これまでの取組状況を踏まえ、重点的に取り組む事業を選別するなど、整理が必要と考える。

(会長)

確かに連携事業数は増えているが、内容が大事であるので、評価が低い事業については、その理由を確認した上で、次期連携中枢都市圏構想の検討の際には、既存事業の見直しを行う必要がある。

これまでは、主に新規・拡充事業に議論が集中していたので、既存事業の見直しの視点も大事と考える。

(会長)

以上で、本日の会議を終了する。